

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	【I, II, V】
2 実施対象者	福島市立大島中学校 全校生徒 176名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>2つの講演会を通して、</p> <p>○マナーに関するグローバルスタンダードと、日本の誇るおもてなしの心について考える契機とする。</p> <p>○夢を持ち続け、その実現に向け努力することの尊さについて考える契機とする。</p>
5 取組内容	<p>1 おもてなしの心に学ぶ教室 筑波大学客員教授 江上いずみ 様を講師にお迎えし、全校生参加の講演会を実施した。 江上先生の経験を交えながら接客やマナーに関するお話をいただいたり、グローバルスタンダードのマナーを実際に体験したりしながら、「おもてなしの心」について学習した。</p> <p>2 トップアスリートに学ぶ教室 東邦銀行陸上競技部コーチ 吉田真希子 様を講師にお迎えし、全校生参加の講演会を実施した。 夢を持ち続けることの大切さや、その実現に向けて努力を続けることの尊さ等について、吉田コーチの経験を中心としたお話を通し、学習した。</p>

<p>6 主な成果</p>	<p>1 おもてなしの心に学ぶ教室 相手を迎えるときの心構えやマナー等について、グローバルスタンダードの立場からのお話と、日本の良き伝統である「おもてなしの心」についてのお話をいただき、生徒にとって、世界に通じる「飯坂のおもてなし」について考える契機となった。また、相手の目を見てあいさつをしてその後礼をする「分離礼」や、表情を明るく言葉をしっかり伝えることなど、学校生活の中で早速意識しながら実践している姿が見られた。オリンピック開催に向けて、世界中から多くの方々をおもてなしする、飯坂地区としての意識を高めることができた。</p> <p>2 トップアスリートに学ぶ教室 夢を持ち続けることの大切さや、その実現に向け努力を続けることの尊さ等について、吉田コーチの経験を中心にお話をいただいた。生徒たちは、世界レベルに向けて努力を重ねた吉田コーチの生き方や物事への考え方に触れ、自分自身の今までの取り組みや考え方を見直す契機となった。また、世界を目指して夢を実現できた吉田コーチから直にお話を伺うことで、トップアスリートを身近に感じることができ、東京そして福島でオリンピックが開催されることへの関心がさらに高まった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>講演会を通して、生徒たちの、オリンピック・パラリンピック東京大会への関心や、野球とソフトボール開催地としての当事者意識の高まりの契機となるよう企画した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>年度途中からの取り組みであったため、講演会のテーマ、講師の人選、日時の設定作業に追われ、講演会までの事前学習が十分にできなかった。</p> <p>そのため、オリンピック・パラリンピックに関する生徒の関心や意識のレディネスがそろわないままこの事業に臨む形となり、生徒の自主的な事後学習までには高められなかった。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックに関する調べ学習</p> <p>○ノーマライゼーション等、望ましい社会のあり方についての学習</p> <p>○オリンピック開催を契機とした、世界に通じる「飯坂のおもてなし」の実践</p>